

# 兵解協だより

「建築解体現場における消火設備の容器の適切な処理」と題する「講習会」と(株)コーアツの「三田工場」の見学会を開催いたしました。

令和5年10月24日(火)PM2:時30分から、当協会及び全解工連の賛助会員である(株)コーアツ様のご好意よりまして、「三田工場」でみだしの「講習会」及び「見学会」を開催いたしました。12社27名が参加いたしました。さて、ハロンガスはオゾン層を破壊することから、1994年に製造禁止になっておりますが、「消火機能が非常に優れた理想的な消火剤」であることから、(株)コーアツでは、解体工事現場に残された「ハロンガス」を回収・再生し、消火設備に活用するなど「火災から人命・財産を守る」という社会的貢献度の高い事業を進めております。当協会としてもこの事業に積極的に協力をしていく目的で「講習会」等を開催したものです。

「講習会」は上原満会長の「開講の挨拶」で始まり次にNPO「消防環境ネットワーク」の事務局長柴田弘幸が紹介され、挨拶を行った後に、「講習会」が開始されました。柴田は事務局長は、モニター表示や、動画を活用し、「NPO 法人消防環境ネットワーク」の設立の経緯や、地球環境の保全に関する活動状況・役割などの取組み並びに、ハロンガスの規制の経緯や、現在の厳格で評価の高い管理システム等を紹介していました。それによりますと、ハロン製造禁止後、1994年にハロンバンク推進協議会が設立され、2006年からNPO法人に改組し、2005年1月にNPO法人「消防環境ネットワーク」が発足しハロンデータベースを一括管理することになりました。これによりハロン管理に国内外から高い評価を受け米国環境保護庁(EPA)の「オゾン層保護賞」などを受賞したそうです。最後に、柴田事務局長は、「WANTED」という表現を使用し、ハロンガス収納容器の回収に全面的に協力をお願いし、講演を終了いたしました。この後、消火ガスのおさらいとして、ガス消火設備の種類の説明がありました。①低酸素消火(不活性ガス消火設備) ②化学消火(ハロゲン化物消火設備) ③化学消火(粉末消火設備)等があり、ハロンガスは、②のハロゲン化物に該当するそうです。以上で「講習会」が終了し、この後、お客様を魅せる・品質が見える消火設備のパイオニアとして知識・知恵・創意・工夫をもって進化し続ける工場の見学に移りました。

まずは、1Fのショールームにて「三田工場の概要」及び「koathuの軌跡」を綴った年表とカットモデルの展示、コーアツの製品をわかりやすく紹介いただきました。

そのあと、低酸素濃度体験(放出実験)の概要の説明を受け、「低酸素体験室」でNN100放出実験を体験いたしました。たいまつやライターに点火し、実験室に入ると瞬時で、消火されることが確認されました。そして最後に、機械製品組立・容器弁組立・機械加工の室内等の見学を行いスケジュールは終了いたしました。

この後再度会議室に戻り、本日の締めくくりとして、質疑応答に移りました。三木理事から①ハロンガスはどのような所に設置されているのか②ハロンガスは買取していただけるのかという質問がありました。これは、会員全員の最大の関心事とあり、(株)コーアツからは、下記のとおりの回答がありました。

①代表的なのが「立体駐車場」で他には、「電気室」・「ボイラー室」・「コンピュータサーバー室」あるいは、別区画で目立たぬ「地下の一面(専用室)」にある場合が多い。なお、ハロンガス容器には必ず、「ハロンバンク推進協議会」のラベルが貼られているので確認してほしいとのことでした。

# 兵解協だより

た。なお、容器を移動するには、「キャップ」が必要で、なければ移動できません。不透明な場合も含め必ずコアツにご連絡ください。TEL079-555-6085 ②ハロンガスは多種多様ですが、基本的には買取させていただきます。ユニットに設置の場合取外しは無料で、1キロ当たり200円程度で、50キロで10,000円程度になります。なお、消火器の引取りは無償です。

以上で、「講習会」・「工場見学」はPM4時20分に無事終了いたしました。今回の講習会により会員は特に「ハロンガス」に関する正しい知識を習得する事ができ、今後日常業務の現場での確かな判断ができる事と期待をいたしております。最後になりましたが、この度は、野原三田工場長、山田副会長、米澤資材グループ部長、奥谷参与さらには、柴田事務局長など多くの方々のお世話になり心から感謝を申し上げます。誠に有難うございました。



開講の挨拶をする上原会長



講師の柴田事務局長の紹介



講習会の風景



歓迎の挨拶と本日のスケジュールの説明



講演をする柴田事務局長



Koathuの軌跡やコアツの製品等の紹介



低酸素濃度体験の概要の説明



NN100 放出実験の体験



工場の概要を説明する野原工場長